

<新年度のご挨拶>

松江家畜保健衛生所長 品川 雄太

皆様方には、日頃より畜産の振興にご尽力いただくとともに、家畜衛生の推進にご協力いただいておりますことに、感謝申し上げます。

さて、近年、「口蹄疫」や「高病原性鳥インフルエンザ」といった大きな家畜伝染病が国内において発生し、家畜衛生行政の重要性が再認識されているところです。

昨年度は、幸いにも国内では口蹄疫や家きんでの高病原性鳥インフルエンザの発生はありませんでしたが、野鳥の糞便から低病原性のインフルエンザウイルスが検出されたり、隣国である韓国、台湾、中国などにおいては両伝染病ともに継続して発生が確認されており、引き続き侵入防止に万全を期する必要があります。

県といたしましては、家畜伝染病予防法に基づく指導体制の強化や、万一、家畜伝染病が発生した際に迅速な防疫措置が実施出来るよう現地家畜伝染病防疫対策本部の組織強化、防疫演習による関係者の訓練等の対策を講じてきておりますが、農家の皆様におかれましても、家畜ごとに設定されている「飼養衛生管理基準」を遵守の上、家畜伝染病の侵入防止に引き続き取り組んでいただきますよう改めてお願いいたします。

また、家畜伝染病の防疫対策以外につきましても、肉用牛巡回による受胎率向上や子牛の損耗防止、酪農巡回による乳質改善、放牧衛生、肥育牛の肉質向上など、生産性を高める対策にも取り組んで参りますので、ご協力よろしくお願いいたします。

<職員紹介>

<本所>



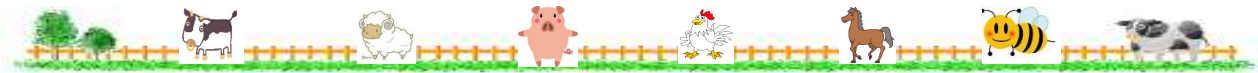
森脇秀俊 (獣医師)	山下由紀子 (主任獣医師)	石倉洋司 (主任獣医師)	長谷川勉 (嘱託職員)
秀島遼哉 (獣医師)	品川雄太 (部長)	板倉 悟 (課長)	松村有美 (嘱託職員)

<隠岐支所>



宇野麻由美 (嘱託職員) 高橋 優 (企画員) 角 郁夫 (嘱託職員)

よろしく
お願いします

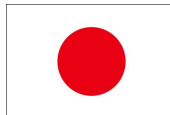


＜口蹄疫を侵入させないために＞

依然として、台湾、韓国などの近隣諸国で**口蹄疫**が発生しています。
過去の日本での発生を見ると、まず韓国で発生しています。



2000 年発生 →
2010 ～ 2011 年発生 →
2014 ～ 2016 年発生 →



2000 年発生
2010 年発生
発生する危険性あり!!

下記の事項の遵守により発生予防の徹底をしましょう！

- ・農場内への関係者以外の立入の制限
- ・農場に持ち込む物品、車両の消毒の徹底
- ・踏込消毒槽の設置による靴底消毒の徹底
- ・発生国への渡航を控える
- ・農場への出入りした人、車両等に関する情報を記録・保管



〈踏込消毒槽の設置〉

疑わしい症状を見つけたら、ただちに通報を！

発熱や食欲不振に始まり、よだれを流したり、口・ひづめ・乳房に水ぶくれができるのが特徴です。

～牛の症状～



～豚の症状～



写真：宮崎県提供

口蹄疫疑う症状がありましたら、当所へご連絡ください！

島根県松江家畜保健衛生所
 ○本 所（島根県東部農林振興センター松江家畜衛生部）
 〒 699-0109 松江市東出雲町錦浜 474-2
 TEL : (0852) 52-5230 公用携帯 : 080-1935-0883 FAX : (0852) 52-3377
 ○隠岐支所（島根県隠岐支庁農林局家畜衛生部）
 〒 685-0015 隠岐郡隠岐の島町港町塩口 24
 TEL : (08512) 2-9690 公用携帯 : 080-1935-0886 FAX : (08512) 2-9657

